

日時： 6/14(金) 3 限 (13:00~14:30)

場所： 慶応義塾大学 矢上キャンパス 12 棟 210 (100 人以上入る大教室)

対象者： 2 学年+3, 4 年、院生、卒業生

テーマ：

社会課題の解決に向けて ~アイデアをどのようにデザインし伝えるか

内容：

1. 過去受賞者のプロジェクト発表 - 島影様
2. デザインジャーナリスト川上典李子様との対談 - 課題解決のアプローチ、伝え方のコツなど
3. アワード概要説明
4. Q&A

登壇者 (予定)：

川上 典李子氏

デザイナーナリスト

[JDA 国内審査員](#)

AXIS 編集部を経て 1994 年に独立、企業やデザイナーの取材、執筆を行う。国際交流基金主催の展示会の共同キュレーションにも関わり、「London Design Biennale 2016」日本公式展示キュレトリアル・アドバイザーを務める。21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター。桑沢デザイン研究所非常勤講師など

島影 圭佑氏

(株)オトングラス代表取締役 / 筑波大学図書館情報メディア系助教

[JDA2016 国内審査 3 位受賞](#)

起業家として製品の社会実装を進める。研究者としてよりよい製品にするための基礎研究に取り組む。2017 年に金沢 21 世紀美術館にて企画展を開催し、同年に OTON GLASS の受注生産を開始。経産省 IoT Lab 準グランプリ、総務省異能 innovation 採択。2018 年より会社の経営者と兼務の形で、筑波大学図書館情報メディア系助教に着任。

応募プロジェクト概要：



失読症の父親と生活する中で開発を始めた本作品は、文字を読むことが困難な視覚障がい者を対象とした、読む行為を支援する眼鏡型機器。視覚的な文字情報を音声に変換する機能を持ち、視点と同一位置にあるカメラで、読みたい文字を撮影し、文字認識技術、音声合成を行い、ユーザーは音声で内容を理解することができる。